



第35回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和4年7月30日(土)開催

主催：長崎シミュレーション教育研究会
共催：長崎大学病院 長崎外来医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
救命救急センター

第 35 回 I C L S コー ス

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、12名全員初期研修医であった。

スタッフ(サブディレクター1名、インストラクター4名、アシスタントインストラクター2名)計7名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

各ブースにおける感染予防対策

1. BLSブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
 - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
 - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)
- 3) 備品消毒箇所
 - (1) マネキン
 - ・胸部
 - ・頸部
 - ・顔面
 - (2) BVM
 - (3) AED
- 4) その他
 - ・受講者2人につき、マネキン1体とする
 - ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



2. 気道管理ブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
 - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
 - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)
- 3) 備品消毒箇所
 - ・気道管理マネキンの顔面
 - ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバーマスク
 - ・エアウェイ
 - ・喉頭鏡
 - ・気管チューブ
 - ・スタイレット
 - ・赤シリンジ
 - ・カフ圧計
- 4) その他
 - ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。



3. モニターブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・シナリオ開始時
 - ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



4. シナリオブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施



3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) BVM

(3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

(4) 輸液・薬剤

(5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



タイムテーブル



〈実施内容〉

開催日時	令和4年7月30日（土） 9：20～17：00
受講者数	12名
対象	初期研修医
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

〈スケジュール〉

			グループ(A)	グループ(B)
09:10～09:20	20分	受付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的研修室(奥)	
09:30～10:10	40分	BLS+AED	シミュレーション室1	多目的室(手前)
10:10～10:20	10分	休憩・移動		
10:20～11:10	50分	気道管理/ モニター	気道管理 多目的室(手前)	モニター シミュレーション室1
11:10～11:20	10分	休憩・移動		
11:20～12:10	50分	気道管理/ モニター	モニター シミュレーション室1	気道管理 多目的室(手前)
12:10～13:00	50分	昼食		
13:00～13:10	10分	デモンストレーション +移動	BLS・ALSデモンストレーション シミュレーション室1	
13:10～14:20	80分	チーム蘇生 VF/VT	シミュレーション室1	多目的室(手前)
14:20～14:30	10分	休憩・移動		
14:30～15:20	50分	non VF/VT	多目的室(手前)	シミュレーション室1
15:20～15:30	10分	休憩・移動		
15:30～16:40	70分	Megaコード	多目的室(手前)	シミュレーション室1
16:40～16:50	10分	移動		
16:50～17:00	10分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 多目的研修室	

午前：気道管理

インストラクター：	★北山 湯川
アシスタント：	中山

午後：シミュ1

インストラクター：	★北山 湯川
アシスタント：	中山

午前：モニター

インストラクター：	★立石 百木
アシスタント：	武

午後：多目的(手前)

インストラクター：	★立石 百木
アシスタント：	武

◆アンケート◆ 受講生の声

1)到達項目について、到達できたと思いますか



2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどうか変わったと思いますか？

- ・変わった、すぐ変わりました。(5)
- ・体が動く様になった。、前よりは動けるようになった。(2)
- ・指示を出す気持ちが芽生えました。
- ・何が必要かわかるようになった。
- ・もし患者さんが倒れていても、今回の講習会で教わったことを実施できる自信ができました。
- ・自分のできることとできないことの区別ができた。
- ・一連の流れをある程度理解出来た

3)カリキュラムについて、お尋ねします



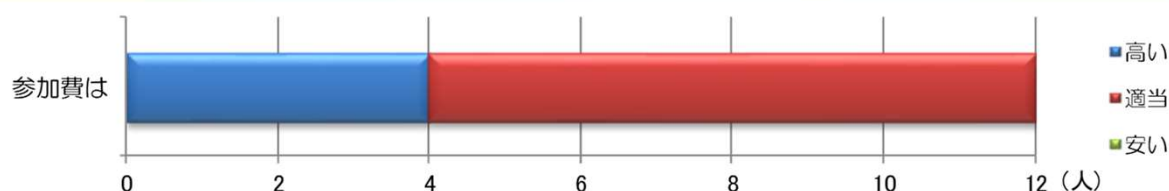
4)インストラクターに一言

- ・丁寧なご指導ありがとうございます。(5)
- ・とてもわかりやすく勉強になりました。わからなかったり、間違えた時にも優しくアドバイスを下さったので自信が無くならず続けられました。(2)
- ・ unnecessary ストレス無く終了できました。どうもありがとうございました。
- ・楽しく学べたと思います。ありがとうございました。
- ・良いところだけでなく、悪いところも具体的に指摘していただいてわかりやすかったです。
- ・先生方がお忙しい中、ボランティアで指導して下さると知って本当にありがたいと思います。
- ・お忙しい中大変勉強になりました。

5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- ・なし(9)
- ・暑かった、少し暑かったです。(2)
- ・午前のみ多目的室の冷房が強かった。

6)参加費は・・・



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

。 記載なし

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

。 希望者なし



◆アンケート◆ スタッフの声

【受講生について】

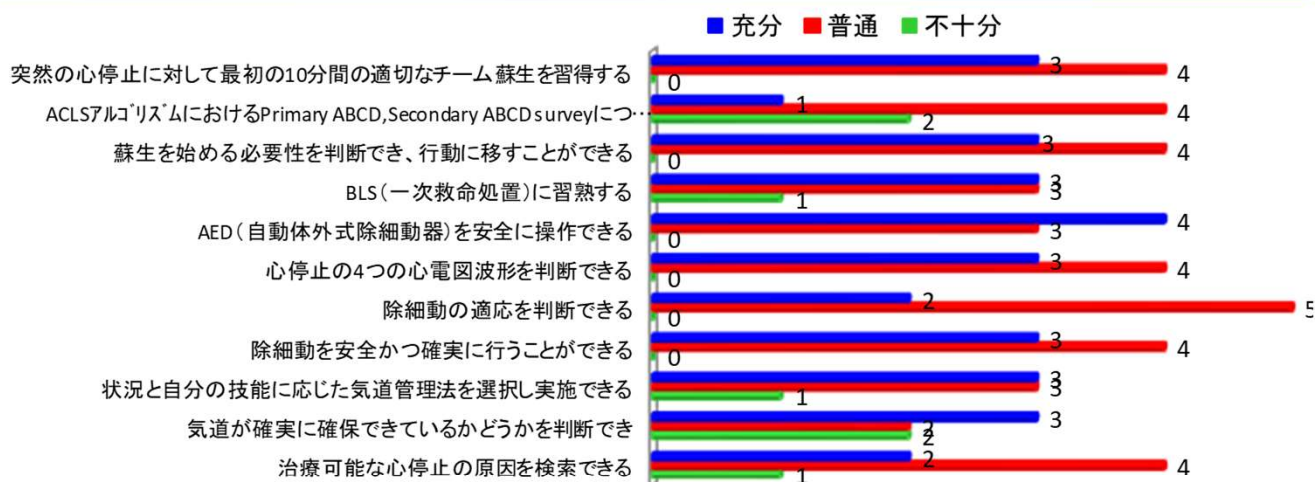
1)受講者の態度・意欲はどうだったか？

- 。 良かった、やる気があったと思います。(2)
- 。 疲れているのか、元気がない方が多かった。
- 。 意欲は徐々に上がってきていた。態度はよかったけども、少し話をしてふざけているような様子が多く感じた
- 。 当初、ばらつきがあるように感じましたが時間経過するごとに、真剣さが増していったように感じました。
- 。 徐々に意欲的になりました。
- 。 後半に集中力が切れているときがあった。

2)予備知識(予習含む)はどうだったか？

- 。 普通、まずまず、問題なし(3)
- 。 しっかりできていたと思います。
- 。 足りない部分はあったが、説明で補える範囲
- 。 不足

3)到達項目について、到達できたと思いますか？



その他の意見

- 。 原因検索まで進めないことが、いつもよりやや多かった。

【インストラクターについて】

4)自身はどうでしたか？

- 。 もっと勉強が必要だと思いました。
- 。 盛り上げることが今ひとつできなかった。インストラクターが少なく、余裕を持った声かけが出来なかった。
- 。 シナリオ通りに行こうとしすぎた。振り返りの方法をあらかじめ決めていた方がよかったと感じた。
- 。 久々で勉強になりました
- 。 集合に遅れてしまい、申し訳なかったです。
- 。 出来るだけ任せるつもりでしたが、口を出してしまいました。
- 。 受講生のやる気をあまり引き出せなかった。

5)同僚のインストラクターはどうでしたか？

- 優秀でいろいろ教えていただきました。勉強になりました。
- 頼りになります。
- 問題なかった
- とても優しく聞いても親切に教えてもらえました
- 久しぶりに、ご一緒させて頂いたなかで学ぶことが多かったです。
- 適切なフィードバックでした。
- 隙間の時間で効率的に打ち合わせができた。

6)アシスタント、チューターはどうでしたか？

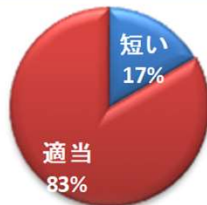
- 初めてでしたが、頑張っていました。
- とてもよかった
- すごく熱心でした。
- 学びのための努力が見えました。
- 少し緊張が見られましたが、スムーズに指導できていました。

7)到達項目を十分教えることが出来たか？

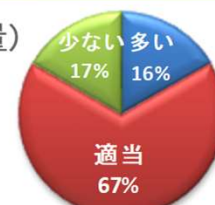


8)講習会全体について

講習時間



指導内容(量)



9)運営者について

1. 当日の運営はどうでしたか？

- コロナで大変な中お疲れ様でした
- いつも、ありがとうございます。
- 特に問題ありませんでした。

2. 当日までの準備はどうでしたか？

- コロナ禍の中で、開催が危ぶまれるなかの準備、お疲れ様でした。
- いつもありがとうございます。

10)今後のこの会についてひとこと

- 継続していきたい。振り返りの方法やシナリオの進め方を学びたい。
- がんばって続けていただきたい
- 今後とも、よろしくお願いいたします。



フォトギャラリー

